

適切なメンタルケアで**自己防衛!**

ある企業様にお邪魔したときのこと。担当者様のお話をお聞きするなかで、「新入社員が定着しなくて困る」または、「せっかくだと育てたのに辞めていってしまう」というお声を耳にしました。たしかに、慣れない環境で、誰にどのように相談していいのかわからない、と一人を抱え込んでしまう新入社員は少なくありません。

「多様性」が尊重される昨今、パワハラ防止指針の中にも「客観的に見て」とか「平均的な労働者の感じ方」という注意書きがあります。お互いにそれぞれが「価値観」を受け止めていくことこそ、これからの会社に必要とされている「多様性」なのではないでしょうか。

そういった意識を共有するためにも、従業員の皆様がセルフケアを学び、自分のコミュニケーションのあり方を確認することが大切です。

あわせて、管理職の皆様にもラインケアを通して従業員のメンタルケアをマネジメントしていただくと、自他ともにバランスの取れたメンタルサポートができるのではないのでしょうか。



適切なメンタルサポートのために
意識のアップデートを!

多様性社会に**取り残され**ないために

EAP・ハラスメントチーム
チーム長
鈴木 里枝

多様性を認め、価値観を受け止めていくことを企業として実行していくのは困難が伴います。人は変化を恐れます。そのため、画一的で伝統あるやり方が一番心地よいのです。

しかし、時代は変化し続けています。これから社会人として世に出てくる「新入社員」は小学生のころから「ハラスメントとは何か、男女平等とは何か」を学んでいます。多様性とは何か、互いの価値観を認めるとはどういうことかを考えることを子供のころからしてきました。

ハラスメントに限らず、ジェンダーや多様性について会社側が意識をアップデートしないままだと、大きなギャップが生まれます。それは、ジェネレーションギャップのような単純な世代間の違いではなく、社会から「取り残される」と同じです。

新入社員にセルフケアやコミュニケーションについて学んでもらうのと同時に、受け入れる側も、ジェンダーやハラスメントについて、それから、ラインケアについて学ぶことがとても大切です。



SERVICE

サービスの
ご紹介

INFORMATION

ハラスメント担当者養成講座

内部通報の外部受付窓口、ハラスメント相談のパイオニアであるダイヤル・サービスが、20年以上相談や通報を受け付けているノウハウを生かし、これからハラスメント対策に携わる担当者の皆様に、相談からの一連の流れを習得いただく講座を提供いたします。

日時：2024年5月24日(金) 9:30～17:00

受講対象者：ハラスメント対策担当者(実務経験3年以内の方)

参加方法：Zoomを使用したオンライン講座

受講形式：講義・個人ワーク・グループディスカッション・ロールプレイ

受講料金：おひとり様 30,800円

詳細・お申し込み：<https://www.dsn.co.jp/seminar/240524/>



LGBTQ+ 研修の販売を開始します

ダイヤル・サービスは、この度国内最大級のLGBTインタビューWEBメディア【LGBTER(エルジービーター)】を運営する株式会社ランドホーと連携協力し、企業向け『LGBTQ+ 研修』の提供を2024年より開始いたしました。

両社の強みを活かし、企業で働くLGBT当事者がより働きやすい社会となるため、従業員の意識の啓発・促進に向けた実践的なLGBT支援サービスを企業や団体に提供することで、「アライ(Ally)」になるためのサポート、多様性を尊重した社会の実現を目指します。

研修の詳細は営業担当までお尋ねください。